

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

URGCC-Advanced学習教育目標		保健学教育プログラム (博士前期課程)		
		専門性	創造性	倫理性
大学院教育プログラム学習教育目標	<p>(博士前期課程・博士後期課程共通)</p> <p>本研究科は、広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。</p> <p>(博士前期課程)</p> <p>1. 国際性豊かな知識・技能を身に付けている。 2. 健康開発・病態解析の科学的評価・研究ができる。 3. 島嶼看護・在宅ケア実践などに必要な知識・能力を身に付けている。</p>	○	○	○
	<p>(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)</p> <p>専門性に関しては保健学の専門性を高めるカリキュラムとなっている。2020年度には保健学研究法(博士前期)は生物学、社会科学それぞれの研究を実施する学生に共通に学ぶべき方法論を体系だてて学べるカリキュラムに改変した。また保健学特論等の科目で多分野からの構成になっており、学際的研究が可能になるようなカリキュラムになっていること、さらにアクティブ・ラーニングも「アジア・太平洋の保健医療」等を取り入れているため創造性を高める内容となっている。また研究の計画・実施・報告のプロセスのなかで、倫理や社会的責任に対して果たすべき態度を習得できる。また英語で学ぶOkinawa Global Health Science Courseと一般コースで公衆衛生系の勉強を希望するものには、体系立ててグローバルヘルス及び公衆衛生を学べるように工夫をした。具体的には、環境保健学特論、公衆衛生研究法(疫学・生物統計学)を新設した。さらに医学研究科の協力によって熱帯医学を2021年に開講した。これらの科目はアジア太平洋の保健医療(保健政策)、国際地域保健学特論等とともに全て英語で実施している。</p>			

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

URGCC-Advanced学習教育目標		保健学教育プログラム (博士後期課程)		
		専門性	創造性	倫理性
大学院教育プログラム学習教育目標	(博士前期課程・博士後期課程共通) 本研究科は、広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。	○	○	○
	(博士後期課程) 1. 健康長寿の維持増進及び再生に資する方策の開発ができる。 2. 健康資源の解明に関する研究を推進できる。 3. アジア・太平洋地域における島嶼保健の課題と対策、特に感染症予防対策についても総合的に研究ができる。	<p>(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)</p> <p>専門性に関しては保健学の専門性を高めるカリキュラムとなっている。また保健学特別講義等の科目で多分野からの構成になっており、学際的研究が可能になるようなカリキュラムになっていること、さらにアクティブ・ラーニングも「アジア・太平洋の保健医療」等で取り入れているため創造性を高める内容となっている。また研究の計画・実施・報告のプロセスのなかで、倫理や社会的責任に対して果たすべき態度を習得できる。また英語で学ぶOkinawa Global Health Science Courseと一般コースで公衆衛生系の勉強を希望するものには、体系立ててグローバルヘルス及び公衆衛生を学べるように工夫をした。具体的には、環境保健学、公衆衛生研究法(疫学・生物統計学)を新設した。さらに医学研究科の協力によって熱帯医学特論を2021年に開講した。これらの科目はアジア太平洋の保健医療(保健政策)、国際地域保健学特論等とともに全て英語で実施している。</p>		